



2025年5月13日

各 位

会社名 株式会社イーディーピー
代表者名 代表取締役社長 藤森 直治
(コード番号：7794、東証グロース市場)
問い合わせ先 代表取締役副社長 兼 総務部長 高岸 秀滋
(TEL 06-6170-3871)

減損損失の計上、2025年3月期通期連結業績予想と実績との差異及び
通期個別業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社グループは、2025年3月期第4四半期連結会計期間において、下記のとおり減損損失を計上しました。また、2025年2月13日に公表いたしました2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の通期連結業績予想及び通期個別業績予想と、2025年5月13日に公表いたしました実績に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

2025年3月期第4四半期連結会計期間におきまして、事業環境の変化を考慮し、当社グループの固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額として減損損失 1,300 百万円を計上いたしました。

2. 2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）通期連結業績予想と実績との差異

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	902	未定	未定	未定	未定
実 績 (B)	902	△984	△997	△2,315	△172.06
増減額 (B-A)	0	—	—	—	
増減率 (%)	0%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 2024年3月期	757	△213	△97	△111	△8.48

(注) 当社は、2025年3月期より連結決算へ移行したため、上記表の2024年3月期の業績（実績）は、当社のみの単体決算の業績となっております。

3. 差異の理由

当連結会計年度において、売上高は概ね予想どおりの実績となりましたが、種結晶の価格下落の影響もあって、利益率が大幅に低下しました。さらに在庫の製品や素材は、在庫評価損を計上しましたので、大幅な損失が発生しました。

また、当連結会計年度においては、事業環境の変化を考慮し、当社グループの固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額として減損損失1,300百万円を計上いたしました。

なお、2026年3月期の通期連結業績予想の詳細につきましては、2025年5月13日に公表いたしました、「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

4. 2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)通期個別業績予想と実績との差異

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	953	未定	未定	未定	未定
実 績 (B)	989	△862	△873	△2,189	△162.72
増減額 (B-A)	36	—	—	—	
増減率 (%)	3.8%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 2024年3月期	757	△213	△97	△111	△8.48

5. 差異の理由

当事業年度において、売上高は概ね予想どおりの実績となりましたが、種結晶の価格下落の影響もあって、利益率が大幅に低下しました。さらに在庫の製品や素材は、在庫評価損を計上しましたので、大幅な損失が発生しました。

また、当事業年度においては、事業環境の変化を考慮し、当社の固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額として減損損失1,300百万円を計上いたしました。

なお、2026年3月期の通期個別業績予想の詳細につきましては、2025年5月13日に公表いたしました、「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以上